

背景情報

気候危機

気候変動は、人類が直面している最大の問題の一つであり、生活のあらゆる面に影響を及ぼし、世界中の人道危機を深刻化させている。急激な天候の変化・干ばつ・暴風雨・洪水は全世界、特にグローバル・サウスにおいて、子どもの生活と未来を脅かしている。



洪水や干ばつなど、異常気象の影響を受ける人の数が、世界で増加している
写真: Plan International

プラン・インターナショナルの活動国において、気候危機によってコミュニティ内での社会的・経済的格差が拡大・悪化していることが、調査により判明している。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第6次評価報告書では、「人間活動に起因する気候変動は、すでに世界全土で多くの異常気象を引き起こしている。気候変動は、自然および人間に広範な悪影響を及ぼしうる損失・損害を与えており、歴史的に見て現在の気候変動に対する責任が小さい脆弱なコミュニティが、不均衡に大きな影響を受けている」と指摘している¹。

¹ IPCC、2023年: 政策決定者向け要約、In: [Climate Change 2023: Synthesis Report](https://www.ipcc.ch/synthesis-report/) (ドイツ語版); <https://www.ipcc.ch/synthesis-report/> (英語版)

1人当たりのGDPが低い国の多くは、異常気象や気候変動の影響を強く受ける地域にあり、かつ自国の天然資源への依存度が高い。雨季の短期化・ゲリラ豪雨・豪雨後の長期的な干ばつは、水不足・農作物の不作や害虫被害・家畜の死亡率の上昇につながる。洪水や土砂崩れによる、道路や建物などのインフラの損壊の恐れもある。気候変動関連の災害による損失は拡大しつつあり、低所得国がもっとも深刻な打撃を受けている。

気候危機

「気候危機」とは、地球温暖化と気候変動による環境的・政治的・社会的な影響を表現する用語である。私たちは、子どもの権利の促進に努めつつ、子どもにとっては特に深刻な気候変動の影響から、子どもを守ることに尽力している。農作物の不作によって、栄養不良が拡大し、病気が蔓延しやすくなる。洪水や火災²のために、数百万人の子どもが住む家を失い、教育を受ける機会を奪われている。家庭内暴力や性的虐待の被害者となっている女の子も多い。気候危機は世界中で、子どもの権利の向上に対する大きな障壁となっている。

² 以下を参照のこと: Jenifer Scholz、ユニセフ、2023年(2023年10月25日)「[Wie der Klimawandel Millionen Kinder bedroht](#)」

急激な変化への適応支援

プラン・インターナショナルは、活動国のコミュニティが、気候変動とその影響に適応できるよう支援している; 支援の内容は、干ばつに強い種子の利用、気候に左右されない副業に就くための大人向けの訓練、洪水の危険性が高い地域から高地への転居などである。気候変動に適応するだけでなく、環境に悪影響を及ぼす活動を削減し、環境を保護していくことも重要である。

持続可能な農業・災害対策・気候変動対策プロジェクト

私たちは、子どもとその家族を気候危機の影響から守ることに尽力している。子どもと思春期の若者が気候変動の原因と影響について理解を深めることは重要であり、すでに多くの国の学校で、気候変動に関する教育が実施されている。防災訓練が学校のカリキュラムに組み込まれており、非常時用の物資も備蓄されている。また、子どもが自分自身の権利について意識を持つよう、啓発活動も行っている。子どもクラブは、子どもと女の子の権利促進のための重要なプラットフォームである。



プラン・インターナショナル・マラウイの研修コースを修了したJenniferは、洪水の兆候を早期に認知し、コミュニティを守ることができた

気候変動による災害の発生頻度は、エチオピア・ハイチ・バングラデシュなどの多くの国で高まっている。それによる深刻な農業被害や作物の不作は、栄養不良のリスクを高め、子どもの健康に生涯にわたるほどの影響を与えることもある。

また農業用水や飲料水が不足し、女性と女の子は家族の日々の生活に必要な水を、かなり遠くまで汲みにいかなければならない。干ばつや水不足に備えて、私たちは貯水池・太陽光発電式ポンプ・井戸の設置を支援し、コミュニティ住民が外部の支援に頼らず自立できるよう、給水システムの整備や管理に関する訓練を実施している。また、給水方法に関する知識の提供に併せ、ユースを対象に持続可能な農業、畜産、漁業に関する訓練を実施しており、農業製品の加工および販売に関する訓練も提供している。

加えて、コミュニティリーダーや現地の専門家と協力し、現地の住民間のネットワーク構築も推進している。学習プラットフォームを共有化することで、農業従事者の男性と女性が知識と経験を共有し、パラミツ・キャッサバ・豆類・山菜・ガラングルなどを栽培する気候スマート農業に関して理解を深めることができるようにしている。簡単な気象記号が記載されたわかりやすい天気図は、識字能力の有無に依らず、農家が作物の収穫量と収入の計画と改善に役立てることができる。

そして、効率的な土地利用計画策定用の適切なマッピングツールも、コミュニティに提供しており、それにより、コミュニティ住民が環境配慮型農業や高付加価値農業、自然保護区など、様々な用途に土地を適切に配分できるよう支援している。



17の持続可能な開発目標(SDGs)

気候変動対策と環境の持続可能性は、SDGの目標2・6・8・13・15などと一致している。



詳細情報: <https://sdgs.un.org/goals>